

第4次三鷹市基本計画第1次改定の「素案」がまとまりました

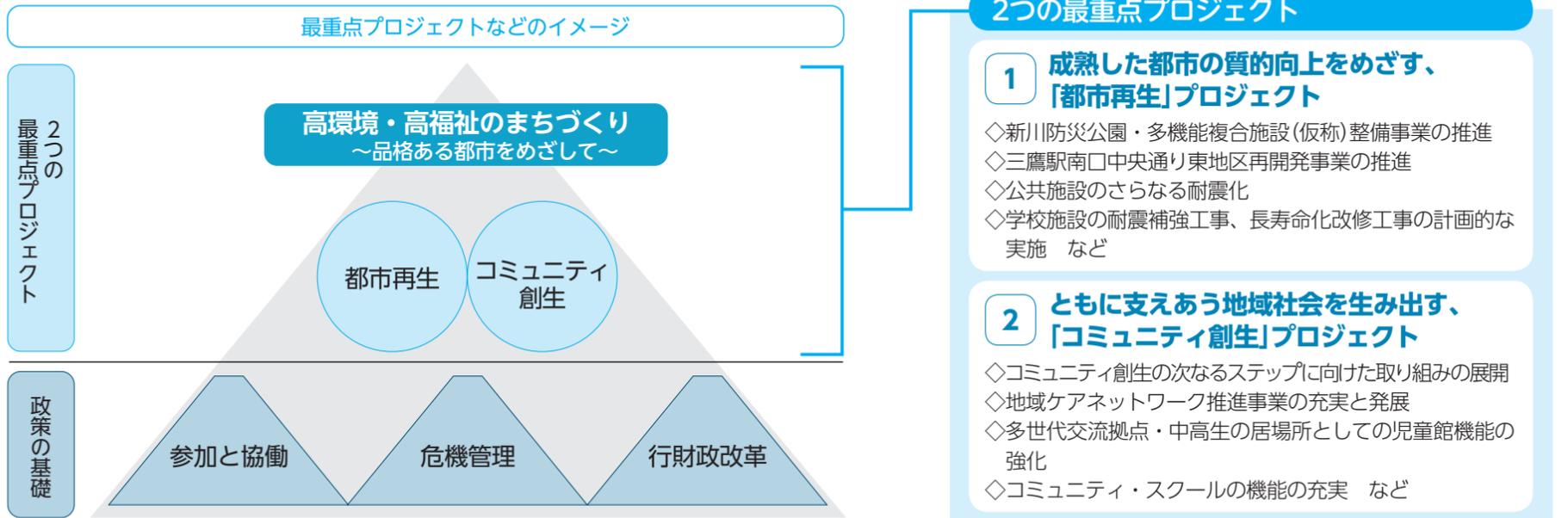
☎企画経営課☎内線2114

平成27～34年度の市の基本的な施策を示した「第4次三鷹市基本計画第1次改定」の「素案」がまとまりました。

この「素案」は、「広報みたか」特集号(昨年10月11日発行)でお知らせした「骨格案」に対する市民のみなさんのご意見を踏まえてまとめたもので、主要事業の実施スケジュールを明らかにするとともに、計画期間内の財政フレームを示しています。2月1日(月)までの期間でパブリックコメントを実施していますので、ご意見をお寄せください。

● 最重点・重点プロジェクトについて

「選択と集中」によるプロジェクトの重点化として、「都市再生」「コミュニティ創生」の2つを最重点プロジェクトに設定します。また、政策の基礎として、①まちづくりの基礎となる「参加と協働」、②あらゆる危機から市民の命と暮らしを守る「危機管理」、③持続可能な自治体経営を堅持する「行財政改革」を位置付けています。さらに、優先的に取り組むべき課題として、7つの重点プロジェクトを設定します。



2つの最重点プロジェクト

1 成熟した都市の質的向上をめざす、「都市再生」プロジェクト

- ◇新川防災公園・多機能複合施設(仮称)整備事業の推進
- ◇三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業の推進
- ◇公共施設のさらなる耐震化
- ◇学校施設の耐震補強工事、長寿命化改修工事の計画的な実施 など

2 ともに支えあう地域社会を生み出す、「コミュニティ創生」プロジェクト

- ◇コミュニティ創生の次なるステップに向けた取り組みの展開
- ◇地域ケアネットワーク推進事業の充実と発展
- ◇多世代交流拠点・中高生の居場所としての児童館機能の強化
- ◇コミュニティ・スクールの機能の充実 など

2つの最重点プロジェクト

政策の基礎

7つの重点プロジェクト

1 すべての人が心安らかに暮らせる、「安全安心」プロジェクト

- ◇防犯カメラの設置などによる地域防犯力の向上
- ◇防災出前講座の実施と市民防災協力員の育成 など

2 いきいきと子どもが輝く、「子ども・子育て支援」プロジェクト

- ◇妊娠期からの切れ目ない支援の推進
- ◇子ども・若者支援の推進 など

3 いつまでも元気に暮らせる、「健康長寿社会」プロジェクト

- ◇生きがい活動の支援・充実
- ◇多世代交流の拠点としてのコミュニティセンターの活性化支援 など

4 市民の命、暮らしを守る、「セーフティネット」プロジェクト

- ◇生活保護制度の適正な運用
- ◇生活困窮者自立支援事業の推進 など

5 持続可能な都市をめざす、「サステナブル都市」プロジェクト

- ◇街路灯のLED化による省エネルギーの推進
- ◇学校などにおける校庭の芝生化・壁面緑化の推進 など

6 まちの活力、にぎわいをもたらす、「地域活性化」プロジェクト

- ◇外国人観光客の回遊性の向上
- ◇三鷹フィルムコミッションによるロケの誘致および情報発信による地域活性化 など

7 誰もが安全で快適に移動できる、「都市交通安全」プロジェクト

- ◇都市再生と連携したみたかバスネットの推進
- ◇サイクルシェア事業に向けた社会実験の実施と検証 など

● 財政フレームと財政見通しについて

計画中期(平成27～30年度)は、計画に掲げた各事業の実現性を確保するため、「財政フレーム」として、年次ごとに対応する歳入と歳出を推計しています。また、後期(平成31～34年度)は、経済状況の変化に柔軟に対応し、財政状況を踏まえ適宜見直しを行う「財政見通し」として位置付けました。

この「財政見通し」は、計画期間内の普通建設事業などを基礎としつつ、計画期間内における事業費の総枠を推計しており、基本計画の後期の改定時には、対象期間の計画事業を前提とした「財政フレーム」として改めて設定します。

なお、「財政フレーム」と「財政見通し」は、現時点での将来推計に基づき算定したものであり、今後の経済変動などにより再調整します。

		財政フレーム		財政見通し	
		中期(平成27～30年度)		後期(平成31～34年度)	
		計	構成比	計	構成比
歳入	市税	1,470億円	52.2%	1,488億円	52.2%
	国・都支出金	740億円	26.3%	827億円	29.0%
	市債	117億円	4.2%	80億円	2.8%
	その他の収入	487億円	17.3%	455億円	16.0%
	合計	2,814億円	100.0%	2,850億円	100.0%
歳出	義務的経費	1,399億円	49.7%	1,370億円	48.1%
	人件費	414億円	14.7%	400億円	14.1%
	扶助費	769億円	27.3%	820億円	28.8%
	公債費	216億円	7.7%	150億円	5.2%
	投資的経費	344億円	12.2%	339億円	11.9%
	その他の経費	1,071億円	38.1%	1,141億円	40.0%
	合計	2,814億円	100.0%	2,850億円	100.0%

※中期財政フレームの年次ごとの歳入と歳出については、平成28年度予算の成立に合わせて明らかにします。

パブリックコメントを実施しています 2月1日(月)まで

「第4次三鷹市基本計画第1次改定(三鷹市まち・ひと・しごと創生総合戦略を含む)」の「素案」のほか、同基本計画と同時に策定・改定を行う個別計画などの素案(6面参照)について、パブリックコメントを実施しています。

各計画(素案)の全文は、市ホームページでご覧になれるほか、相談・情報センター(市役所2階)、市政窓口、市民協働センター、コミュニティセンターで配布しています(市立図書館でも閲覧可)。

みなさんのご意見をお寄せください

2月1日(月)(必着)までに、住所・氏名・電話番号(団体の場合は所在地・団体名・代表者の氏名・電話番号)を直接または郵送・ファクス・電子メールで「〒181-8555企画経営課」・FAX 48-1419・✉kikaku@city.mitaka.tokyo.jpへ。6面の個別計画などの素案については、各担当課へお寄せください。

🔑 パブリックコメント

市の重要な政策を策定する際に、原案を公表して広く市民のみなさんから意見を求め、いただいた意見を考慮しながら政策を決定すること。

地方版総合戦略の策定について

まち・ひと・しごと創生法に基づく「三鷹市まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、平成31(2019)年度までを対象期間とし、人口の現状と将来展望を示した「人口ビジョン」などを踏まえて、基本目標に「子ども・子育て支援」「コミュニティ創生」「地域の活性化」などを設定し、「第4次三鷹市基本計画第1次改定」に盛り込む形で策定します。

三鷹市の教育大綱について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく「三鷹市の教育大綱」については、基本構想や教育ビジョンなどを踏まえて、「すべての子どもの人権の尊重」「地域の多様な主体の参画と協働による教育・子育て支援」などを基本理念として定め、「第4次三鷹市基本計画第1次改定」第6・7部の施策の方向を大綱として位置付けています。